

NPO法人



2020年3月15日

第45号



特定非営利活動法人

縄文柴犬研究センター



Jomon Shiba

2020年3月15日
第45号

もくじ・・ 1

2020年理事総会・学習会開催について・・ 2

ノチウ 立て続けに体調壊し元気になる・・ 3～9

お便りコーナー

Sさん・・ 10

Mさん 東北旅行記続き・・ 11～12

Oさん・・ 13

「新たな時代の幕開けの予感広島研究所」に関する補足と訂正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14～16

表紙の写真説明・・ 17

事務所報告・・ 18

新規入会者向けアンケート実施のお知らせ・・ 19～20



特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

郵便振替口座 : 02280-2-106951

会事務所 : 〒 014-0073 秋田県大仙市内小友字堂ノ前119番地5 ☎ 0187-68-2976

<http://www.jomon-shiba.com/>

encounter_shiba@jomon-shiba.sakura.ne.jp

ノチウ 飼い主Hさんと仲間たち

2020年12月5日

-Hさん-

ご報告が遅れました。

ノチウ妊娠していると思います！ 犬の妊娠出産は初めてなので、色々半信半疑ですが。

最近。寒い日は小屋でジーンとしています。暖かい時はひなたぼっこしたり

ご飯は一気に食べれないようで少しずつ食べています。少し前はほぼ引きこもり。最近は午後は小屋から出るように成りました。

オッパイも膨らんできました。お腹が大きくなっている感じはあまりしないのですが…。

出産予定日は多分12月11日かと思います。1週間切りました！



2020年12月12日

-G-

あれから予定日が過ぎましたね。

出産は、私が計算した予定日は遅くとも12月7日から12日までが限度でしょう。

色々ある中から 1・着床期間に激しく行動し流れたか？ 2・交尾数が多く、種が無くなったか？ 3・科学的薬物の影響は？食べ物などと考えました。妊娠と同じ体型であることとこれまでのノチウの事を考慮すると、想像妊娠状態であったと考えられます。今回は残念ですが出産はしないと思います。

-Hさん-

ノチウ病院に連れて行きました。

やはり妊娠はしておらず、初期に流れたか何かでお乳は膨らんでいるんでしょうと言う事でした。

ノチウの不妊の件を先生に相談するとブルセラ症というのも可能性の1つにあると言われました。

ブルセラ症とは不妊になる病気、菌で、犬同士に移るそうです。

検査は特殊で1~2万はかかるそうです。ノチウは、ごみさんのところで不妊で、他の犬は妊娠していたのでしたら、ブルセラ症の可能性は低いと思い検査はしませんが、そんな菌がいるんですね。

ちなみに人にも移るそうで、人に移ると発熱、悪寒など風邪に似た症状になるそうです。

-G-

妊娠出産は、ips細胞の研究に直結するあらゆる内容が絡み合っていますネ？

結局、縄文柴犬の保存活動は、受胎、細胞分裂と言う環境含めた理解が大切です。



2020年12月13日

-Hさん-

話はかわるのですが、今ノチウのウンチが少し軟便でよく見るとこんな物が。

マンソン裂頭条虫?ですかね? 以前うちのネコもなった事が。



-G-

名前の様に、頭が胃腸壁に食い込んで、普通、飲み薬では駆虫できないから、獣医さんに相談して下さい。

多分筋肉注射！切れると、別れ成長する

条虫と名がつくのは何種類かある。飲み薬では、体節が融けて出ますが、肝心なところが残り、40センチ迄成長するに2~3カ月。犬の体力が消耗するのです。因みに、1メートル以上に育ったのもある。

-Hさん-

動物病院に行った結果

マンソン裂頭条虫でした。駆除の薬をもらい様子を見ようと思います。

2020年2月4日

Hさんのノチウがなんらかの症状になり衰弱しておりました。

23日にNがノチウを確認したところ背線は丸まり、走ることもできずすぐに丸まって寝ている状態でした。

寄生虫なのか、寒さに負けたのか、何か食べたのか？まったくわかりませんでした。

この時点では、ほんとに衰弱も激しくただならぬ状態でしたが病院にはいかず

モリンガという薬草を試してもらうことにして、それと並行してノンノ（中秋紅夏姫）が何らかの毒物による痙攣を起こし回復した時と同じように発酵飲料も試してみることにしました。

そうすると次の日から日に日に症状は回復し1週間弱で回復しました。

広島の会員さんは自然療法を自分や家族にも実践している方が多いので、

今回は犬にも試すということをやってみました。結局のところ原因は何なのかわかりませんが、免疫力を上げるか、排毒、デトックスをするかなのでしょうか？

根拠もなくモリンガや発酵で病気が治るよというのは、一般的に言える事ではありませんが

薬に頼るばかりではなく、からだを弱アルカリ性に保つ、体調を崩したり、病気になったら弱アルカリ性に戻すということが基本ではないかと考察し実験中ですので、

今回の例は犬に自然療法を試した一例にすぎませんので、

かかりつけの獣医師との相談で行うべきだと思います。

-Hさん-

1/3 帰省先から自宅に戻る

1/4 番犬開始

1/13 頃から引きこもり、食欲不振、この辺りから番犬休み痩せ始める

1/19 ご飯残す

1/20 嘔吐 下痢を繰り返す。

1/23 Nさんに観てもらおう。

この日も朝食食べた物を午後嘔吐。夕方豆乳ヨーグルトとモリンガ水をあたえる。

最初は飲まないが数時間後完食。

1/24 少しご飯が欲しそうだったので、お粥とモリンガ、豆乳ヨーグルトをあげる。完食。嘔吐、下痢無し！

1/25 お粥または白飯ドックフード、モリンガ、豆乳ヨーグルト、2食。徐々に回復！

1/30 より番犬再開！

モリンガは一回ティースプーン1杯弱で1日1?2回あげていました。

-Oさん-

モリンガすごいすごいですね。発酵食品もよさそうですね。

ノチウ元気になってよかった。うちは宮古島のモリンガ買ってます。

鮮度がよくて輸入ものと別物です



Oさんが使っているモリンガ



くるみ（木霊の胡桃）

-Hさん-

マンソン裂頭条虫で病院に行った時、体重が8キロ弱しかなく太らすには野菜や米じゃ太らないから、肉かドックフードを増やした方がいいと先生に言われました。うちは鹿肉のクズなどは沢山手に入るわけではないので、たまにしかあげられず、それからはドックフードを少し多めにあげるようにしていますが、実際はそれでいいのでしょうか？

-Dさん-

我が家のモンちゃんは、もっと質素な生活です。野菜も一種類か二種類で、お肉だったり魚だったり、その日ある物を入れてます！時には茹でタマゴも少しづつ入れてあげてます！

我が家は人間も同じく質素な生活です。



モンちゃん

-M-

M家はたんぱく質を取るのに肉は週1日、鶏肉または猪肉で普段は基本大豆などの植物性たんぱく質を与えています。

大豆よりたんぱく質成分が多いのは豆乳、豆乳よりはきな粉でその日の運動量で使い分けてます。

僕の所の犬は普段草むらを歩く時に豆科の植物をよく好んで食べてるのを見ます。

後は根菜類とご飯、ドックフード、キャベツなどの葉を生で入れてます。

後は親が日中、ミカンや畑で取れる物を不定期に与えてくれるので何をあげたかとかをいつも報告してくれます。

それに合わせて少し献立を変えてますが、基本上に書いた食材プラスその日の僕達が食べる食材の調理する前の切れ端なども入れてます。



左:イキル(秋月の紅中) 右:オコメ(秋月の紅姫) 2018.10.12 生



木靈の3兄弟幼犬期 2018.8.11 生

ノチウはあれからは何事もなく元気になって走り回っているそうです
妊娠にともなっているいろいろな事が起きましたが、広島は広島研究所を中心としてみんなで相談しながら
情報を共有して知識と経験を積んでおります

栗駒犬舎訪問

Sさん

JSRCの皆様、ご無沙汰しております。
MLには久しぶりの書き込みになります。
この2月に、くりこま犬舎さんから我が家に
雌のワンコをお迎えしました。
2頭飼いは初めてじゃなくて、すでに、もう一匹、
くりこま犬舎から雄のワンコ(愛称「たま」栗駒の紅中号)
を譲っていただいて飼っていた際に、もう一匹日保犬籍
の雌犬(小梅姫号)も飼っていて、老犬であることと交配
させると雑種扱いになってしまうので交配させずに
おいたのですが、昨年こちらの雌犬が15歳の
老衰で亡くなり、寂しさも募りつつ、1年が過ぎたところで、
このたび交配・繁殖も視野に置いた縄姫様を
お迎えしたところですよ(^_^)。



繁殖にあたっては近親にならぬよう気をつけなければいけないと言うことで、栗駒繁殖センターのSさんに確認したところ、今年わずかに生まれた1匹に候補者がいると言うことで、我が家のたまくんにお迎えをお願いしたところでした。(お姫様の愛称「きなこ」駒の一女号)
こちらに来てからの様子は写真の通り。



最初は先輩犬の雄犬に近づけることに慎重になっていたのですが、このほか相性が良いのか?当初の心配もなく仲良く毎日を過ごしています(^_^)。

これから動物取扱業の登録などをもくろんだ準備をしようと思っておりますが、微力ながら研究会の活動に何とか貢献しようと思っております。(犬舎登録もしなければならぬですね(^_^)。

子犬が生まれて引き取り手が見つからないときは、職場が学校なので、生徒たちに募集をか

けるしかないなどと思っておりました。

新しい命が我が家にやってきて、ちょっと未来が楽しみになったような気がしています(^_^)

会誌(43・44号)の投稿の続きです。

前回のあらすじ

7月末、9日間かけて広島から東北に向けて車を走らせ、金沢の会員の方の宅を出発して白川郷へ向かう所からの続きです。

世界遺産白川郷へ着いたM家は、犬2匹と共に白川郷を探索。

平日という事もあり観光客は思ったよりも少なく犬たちも有意義に過ごせました。

白川郷では、海外の観光客の方が大勢いて犬に対する日本人との考え方の違いなのか日本の方に比べて

全く抵抗のない方が多く犬も警戒することなく撫でられ触れ合っていました。

それは、昔から飼い主に忠実で、忍耐強く、警戒心が強い日本犬と触れ合う事の多い日本人と、人懐っこく社交性のある洋犬と触れ合う事の多い海外の方の他人の犬に対する見方、考え方の違いなのかなと思いました。

初めて見る合掌造り集落に圧倒され滞在時間1時間の予定も大幅に過ぎ2時間の滞在でした。

白川郷を後に、飛騨高山の地を通り長野県松本市に向けて車を走らせました。

その道中にある焼岳山前の露天風呂(梓湖畔の湯 - さわんど温泉 -)に入浴をして松本市内を抜けて夜、新潟に到着。旅のために以前より準備練習してきた車中泊へ。

ワゴン車の3列目シートは取っ払い自作の犬小屋を作り設置しました。

寝るときは2列目シートを倒せば犬小屋を下に自作で作った木材のフラットになるベットをセッティング。

そうすれば、さあ就寝のはずでしたがこの旅1度も自作フラットベットを使用せず。



原因は、

1. 持ってきてすぎた余計な荷物を移動させるのが面倒

対策：最低限の荷物にして車には50キロ対応のルーフキャリアがあるためそれを有効活用する。

持ってきていた趣味の登山道具一式がとても便利で家族4人、1人リュック1つの荷物で十分だと気が付きました。

2. 子供が寝たらセッティングが不可能

対策：子供が寝る前にセッティングするだけの余裕ある旅の時間設定

3. 自作のベットが車の規格ギリギリに作った事もあり長時間運転の疲れにこのセッティングのしにくさはやる気が起きない(笑)

対策：もっと機能的で設置したくなるようなセンスのある物を考え作る

やってみなければ分からない事だらけでとても勉強になりました。

犬たちはビワ(木霊の枇杷)が初生理になった事以外は「ワン！」の文句も言わず居る事を忘れる程静かにとても楽しんでる？様子でした。

ちなみに旅の道中の犬のごはんは、訪れたその地の物を道の駅などで買い、事前に準備してきたドックフードを水に浸し混ぜて与えてました。

基本1食で食後、約6時間後に消化、糞をしたくなるようで(体調や環境にもよる)犬が散歩できるような休憩目的地までの道のりの時間を逆算しながらごはんを与えていました。

翌日山形に入り鳥海山を車で登り、

登山入り口付近にある湿原を探索。

人生初の湿原を堪能したかったのですが

急な大雨に急遽車に避難。そのまま秋田のGさん宅に向い

そこを拠点にさせてもらい2泊3日で周辺の観光をします。

次回、会報へ続く…。



ハル（北鷹の穂高）

Oさん

皆様

ご無沙汰しております。

ハル（北鷹の穂高）も3歳になりました。

健康診断でも何の問題なく、とても元気です。

最近、散歩で出会う犬が増えたのですが、ハルは相性の良い悪いの差が大きく相性の悪い犬と出会うと激しく吠えたてるのが少々困るところです。

ただ、仔犬の頃から散歩で出会う犬とは仲良く挨拶できるので、会う回数が増えれば少しずつ吠えなくなるのかなぁと思っています。

写真は、最近のハルです。

これから寒い冬がやってきますが、これからも元気に過ごしてくれるといいなと思います。



～ 会誌 第45号 表紙写真について ～

撮影 MO

『崖の上の縄文柴犬』

撮影場所 : 広島県江田島市 陀峯山(だぼうざん) 438m 天狗岩にて

撮影者 : 向井亮太

犬は高いところが苦手が多くが高所恐怖症な生き物と聞いたことがあります

猫などは木や高いところによく登る事がありますが、犬に関しては昔から地表や穴倉の高さのない所で暮らす事が多いからと何かの雑誌で読みました。

我が家の初代犬 ハヤト【剣の菊太郎 2017. 2.9 生】は亡くなるまで一度も崖や高い所、ましてや4、5メートルほどの高さでもその場所の付近を通る時は、いつも綱を引っ張り近寄ろうとしませんでした。

その後我が家に来た2匹 ビワ【木霊の枇杷 2018.8.11 生】と イキル【秋月の紅中 2018.10.12】も最初の頃はこれもまた ハヤト【剣の菊太郎】と同じように高い所に近寄れや否や綱を引っ張りそこを通る事を拒む犬でした。

表紙の写真のように断崖絶壁の高さ 100メートル以上もあろうかという場所になぜ顔を覗かせて見る程になったのか、それは飼い主である私がこの二匹を、趣味である登山へ幼少期に連れてった所から始まりました。

昨年5月のGWで島根県の三瓶山(さんぺさん)1126mに家族と犬2匹で登りました。

頂上付近は見晴らしの良い岩場が続く山で下山は崖を下るような場所が続きます。

この2匹の犬にとって登りは良かったのですが、下山は崖を飛び降りる格好になります。

これは高所恐怖症が多いと言われている犬にとっては、勇気のいる事でしたが飼い主が先に降りるのを見て先輩犬である ビワ【木霊の枇杷】がまず勇気を出して飛び降りました。

その時は、すごく褒めてあげた事を覚えています。

その一方 イキル【秋月の紅中】はなかなか勇気が出ないのか飛び降りようとしません。

立ち止まる事は、後ろの登山客の迷惑になるため抱っこをしてしばらく下山しました。

その間、ビワ【木霊の枇杷】は、褒められたのがうれしかったのかその後一度もためらわず、すいすい降りれるようになり、その間抱っこされていた イキル【秋月の紅中】は先輩犬であるビワ【木霊の枇杷】の方へ常に顔を向け、飛び降りる姿を上から見ていたことを良く覚えています。

それから数分後、イキル【秋月の紅中】を降ろし、そろそろどうだろうかと思った矢先なんと数分前のあの情けない姿の犬が嘘みたいに崖を飛び降りるのです。

その間ビワ【木霊の枇杷】はこちらを向きやっと来たかと飛び降りたイキル【秋月の紅中】を、いつもじゃれ合う時に良く見せる軽くお互いの牙と牙をぶつけるようにして、歓迎しているようなしぐさをした事を鮮明に覚えています。

それ以後、この二匹は、造船業で仕事上比較的高い所に慣れている飼い主でも足がすくむような場所でも必ず顔を乗り出し何度も下を覗きこむようになりました。

表紙の写真募集

写真の犬の名前、撮影場所、エピソードなど説明文を明記の上、編集局へご連絡ください。

〒739-2205 広島県東広島市河内町戸野599

mail: nagirarin@gmail.com